



第3回火山巡回展

霧島火山

—ボラが降ってきた! 新燃岳の噴火とその恵み—

日本は火山国であり、その恵みをうけている私たちは、火山と一緒に生活していかなければなりません。そのためには、火山そのものを理解する必要があります。2011年1月、数百年ぶりの軽石噴火を行った九州の霧島火山新燃岳は、私たちの社会生活に大きな影響を与えました。火山は、ひとたび噴火すると大変な災害を引き起こしますが、噴火のない時期には、私たちに恵みをもたらします。たとえば、霧島はその美しい景色から、日本で最初の国立公園に指定されており、最近では日本ジオパークにも認定されました。本巡回展は、火山をより理解するため、新燃岳2011年噴火はどのような噴火であったのかを学び、度重なる噴火でつくられた霧島火山の歴史やその恵みを理解する特別展示です。

産総研 地質標本館・全国火山系博物館連絡協議会・霧島ジオパーク推進連絡協議会

火山巡回展 霧島火山

観覧無料

—ボラが降ってきた! 新燃岳の噴火とその恵み—

■日時: 5月31日(土)～7月13日(日)

■場所: 企画展示室

火山系博物館ネットワークの巡回展として、日本の代表的火山とそこで起きた土砂災害を紹介し、火山の恵みと災害について考えます。

特別展 立山へ行くぞ!

—より楽しむコツ 博物館が教えます!

観覧無料

■日時: 4月15日(火)～7月13日(日)

■場所: エントランスホール

学芸員の視点から、立山黒部アルペンルート沿いの地形、火山、植物等のおよびの観察ポイントを詳しく紹介します。



「黎明期の立山カルデラ砂防えん堤」

—県営砂防の取り組み—

観覧無料

■日時: 5月31日(土)～7月13日(金)

■場所: 2階砂防展示コーナー

立山カルデラで、砂防黎明期に富山県により作られた石積み砂防えん堤の概要とその歴史的価値について、パネル等で紹介いたします。

